

芸大の 歩き方

—上野の杜のキャンパスガイド—

第5回★音楽ホール

歴史ゆかしい「上野」という場所に校地を構え、明治以来の伝統を誇る芸大の隠れた「名所」を毎回テーマを変えて紹介する。



① 第1ホール



⑥ 第6ホール



② 第2ホール



⑤ 第5ホール

ホールいろいろ

杉本和寛

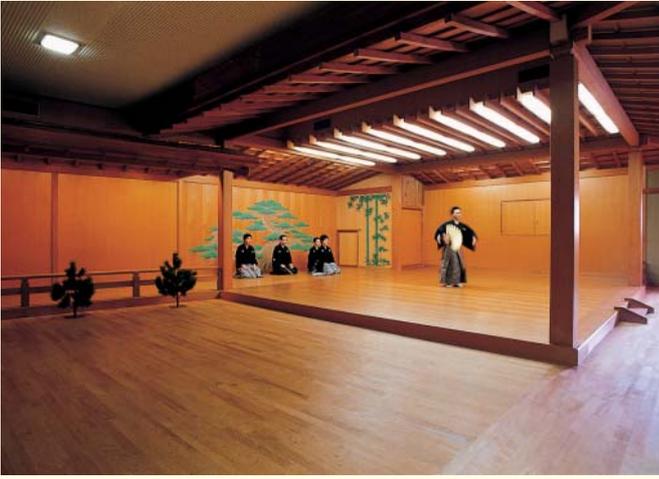
このところ、奏楽堂で木曜日の十一時から行われる「モーニング・コンサート」が大人気である。九時には整理券を求める人たちが集まり始め、十一時には開場を待つ人々で長蛇の列。中には常連さんたちも数多くいるようだ。綺麗なホールで、オーケストラつきの曲が無料、しかもソリストは学部生のなかの選りすぐりなのだから、正直「お得」過ぎるのである。

一般的に芸大の「ホール」というと、この「新奏楽堂」や、上野公園内にある「旧奏楽堂」が連想されるのだろうが、実は音楽学部の建物の中には、第1から第6まで大小さまざまなホールがつくられている。

授業や試験の演奏はもちろんのこと、本番前の練習から、学生たちのリサイタルや自主公演に至るまで、その用途もさまざまである。内容も、オペラからオーケストラ、室内楽、さらに第4ホールでは能舞台を使って種々の邦楽演奏が行われるなど、実に盛りだくさん、フル活用されている。

どのホールも、芸大の施設としてのご多分に漏れず、決して立派な設備をもっているわけではなく、いわばただの《はこ》のようなものである。でも箱は箱でも開けてびっくり《玉手箱》！ここからは偉大な才能が次々と飛び出している。

そんな箱の中を、芸祭や博士リサイタルのときに、機会があったら覗いてみてください。大きなホールでは味わ



④ 第4ホール



③ 第3ホール



えない、演奏者との距離の近さと迫力、
そして次代のマエストロたちの躍動感
に触れることができますよ。
授 音楽文芸研究室